

2018年(平成30年) 5月 第26号

4っむよい 防災 “お助け丸”

4丁目にB4(4丁目防災会)ができて10年になります。町内会の組織です。

5月の町内会役員会で新年度の組織が決まりました(敬称略)。

会 長: 三好町内会長 副会長: 柴田主任福祉員 ※災害時は本部長・副本部長

防災対策班・班長: 島本前町内会長 副班長: 平川町内会副会長 班員・組長さん4人

避難誘導班・班長: 中村ながうら会会長 副班長: 守田町内会副会長 班員・組長さん4人

救 護 班・班長: 山下民生児童委員 副班長:(兼)平川子ども会会長 班員・組長さん4人

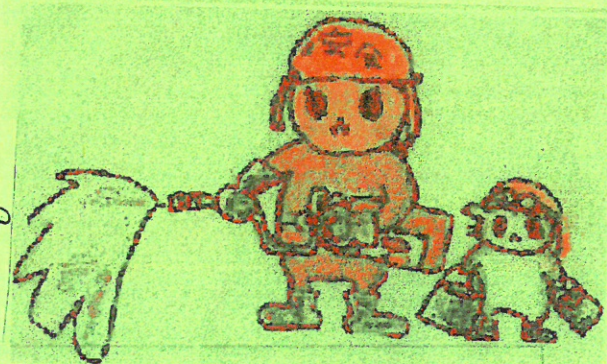
広 報 班・班長: 柴垣町内会広報部 班員・組長さん1人

顧 問: 中村、田志、柴田、伊藤、杉本純子(杉本氏・新任)

専門部会・部会長: 島本 副部会長: 平川 ※会長・副会長・班長・副班長・顧問で年8回開催。

専門部会は町内会の委託を受け ①規約の改廃に関すること ②防災事業計画に関すること ③防災会の目的を達成するために必要な事項 を審議します。

お知らせ・10年前のB4設立にご尽力いただき、専門部員としてご活躍いただいた村尾氏(医事業事)、谷口氏(管工事等技術士)のお二人が退任されました。
これまでありがとうございました!!。



今年度の おもな事業計画

5月 町内会役員会合同でB4 専門部会開きました(5月19日)。

「お助け丸」第26号発行 ★大雨・台風・火災など特集を随時発行予定です★

6月 第1回防災研修会を公民館ながうらで実施します。

「家族連絡表」の更新(3年ごと)をみなさまにお願いにあがります。

8月 日の里まつり前夜祭で発電機や投光器が活躍します。

9月 宗像市総合防災訓練に参加します。

11月 第2回防災研修会。ことしも福岡市の福岡市民防災センターで施設

見学 だけでなく 震度7、風速30メートルなどなど体験研修します。

火災体験、消火器での消火訓練も体験できます。。

1月 どんどやきで発電機が活躍します。

2月 第3回防災研修会。応急手当の方法や心肺蘇生法の体験研修です。

3月 第8回目の専門部会で一年間の活動実績のまとめと反省をし、次年度組織(案)・活動計画(案)を討議します。



裏面・おなかた防災メモ
西山断層など地震特集記事です。



むなかた防災メモ

宗像市の周りには多くの断層帯があります。

平成17年3月20日には、福岡県西方沖地震が発生し、宗像市では震度5弱の揺れが観測され、建物被害が発生しました。

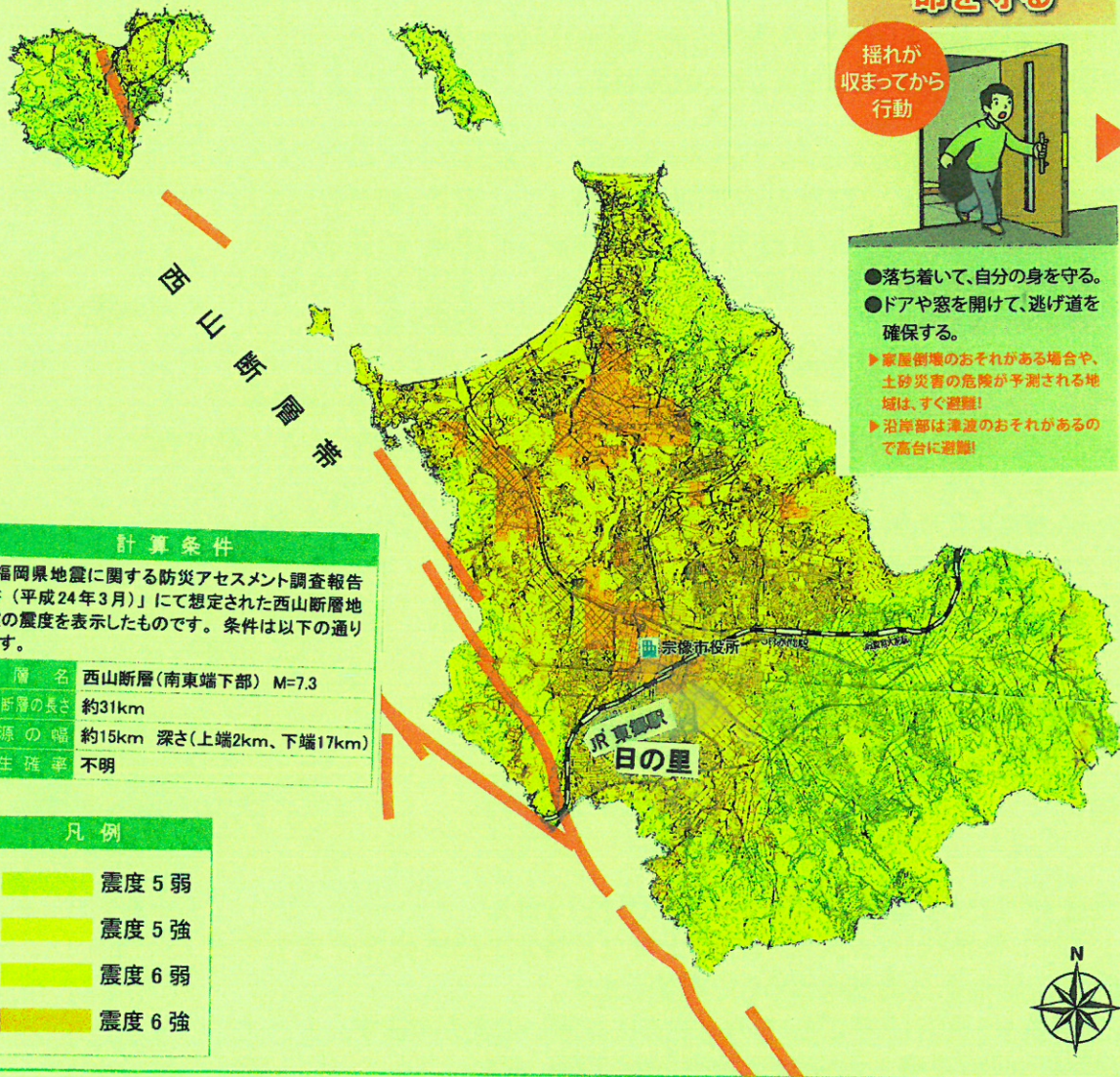
西山断層帯、震度分布図については
⇒地震マップ



宗像市防災マップ
平成29年3月 保存版

B4 4丁目防災会

地震マップ



計算条件

「福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書（平成24年3月）」にて想定された西山断層地震の震度を表示したものです。条件は以下の通りです。

断層名	西山断層(南東端下部) M=7.3
震源断層の長さ	約31km
震源の幅	約15km 深さ(上端2km、下端17km)
発生確率	不明

凡例

- 震度 5 弱
- 震度 5 強
- 震度 6 弱
- 震度 6 強

●震度階級表

- 震度 0** 人は揺れを感じない。
- 震度 1** 室内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
- 震度 2** 室内にいる人の多くが揺れを感じ、電灯など吊り下げられているものが、わずかに揺れる。
- 震度 3** 室内にいる人のほとんどが揺れを感じる。棚にある食器類が音をたてることがある。

熊本地震における宗像市の震度

震度 4 かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全をはかろうとする。置物が倒れることがある。

福岡県西方沖地震における宗像市の震度

震度 5 弱 一部の人が行動に障害を感じる。耐震性の悪い建物では壁や柱が破損することがある。

震度 5 強 多くの人が行動に障害を感じる。タンスなど重い家具でも倒れることがあり、建物の変形によってドアが開かなくなったりもする。

震度 6 弱 立っていることが困難。ガスの配管や水道管に障害が発生する。耐震性の低い建物は倒壊の危険あり。

震度 6 強 立っていることができず、はわないと移動ができない。補強されていないブロック塀のほとんどが破壊する。

東北地方太平洋沖地震・熊本地震における最大震度

震度 7 揺れにほんろうされ、自分の意思で動くことができない。耐震性の高い建物でも倒壊するものがある。大きな地割れや山崩れなどが起こり、地形が変わることもある。

地震発生!

命を守る

揺れが収まってから行動

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ▶ 家屋倒壊のおそれがある場合や、土砂災害の危険が予測される地域は、すぐ避難!
- ▶ 沿岸部は津波のおそれがあるので高台に避難!

1~5分

家族を守る

- 家族の安全を確認。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 必需品を手元に用意する。
- 次の地震に注意。

10分~数時間

助け合いの心で

- 協力して消火・救出活動。
- 水・食料は備蓄でまかなう。
- 災害情報、被害情報の収集。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き地震に注意。
- 避難場所では集団生活のルールを守る。

5~10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- ラジオなどで情報を確認。
- 電気ブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
- ▶ 通電火災を防ぐためにブレーカーを切って避難!